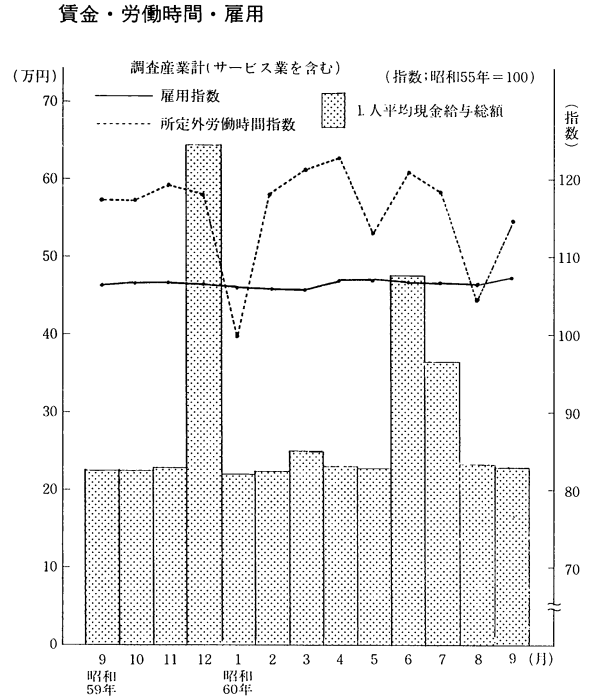
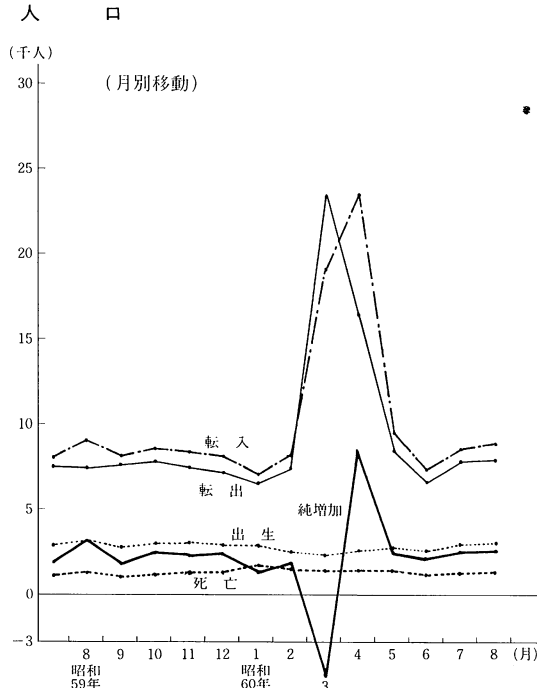
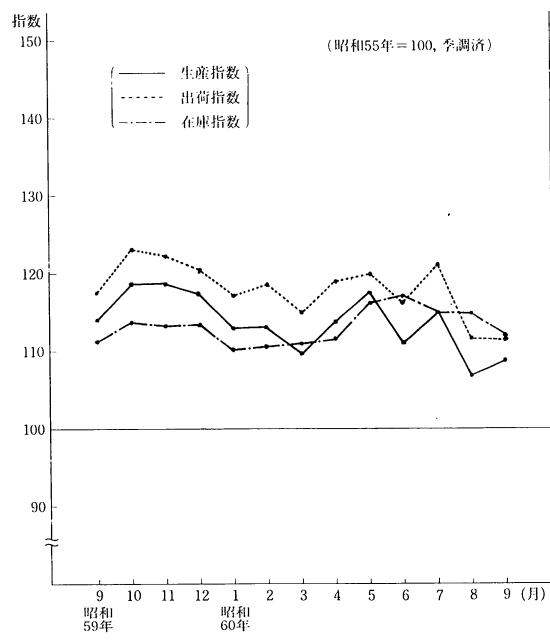


●今月の主な動き

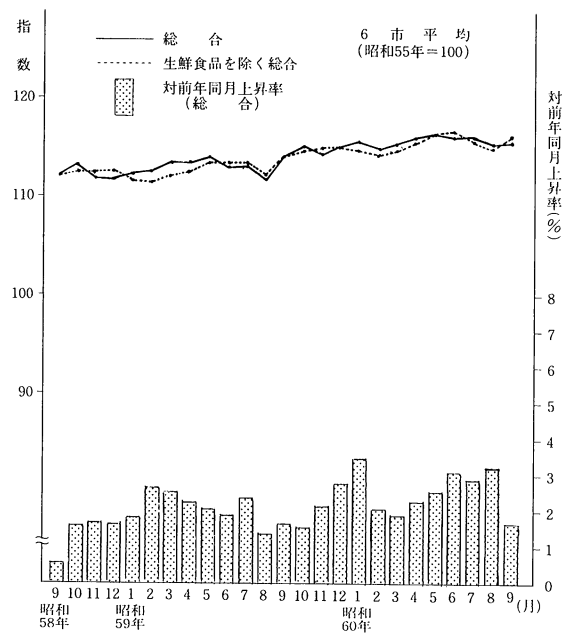
# 今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



## 主な動きのあらまし……………企画部統計課

### ■人口(9月1日)

本県の人口は、8月中に2,626人増加し、9月1日現在で2,714,931人となった。昨年9月1日と比較すると、26,221人(0.98%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,664人(出生2,979人、死亡1,315人)、社会動態で962人(転入8,805人、転出7,843人)、それ

ぞれ増加した。

市町村別では、増加が14市57町村、減少が4市14町村、増減なしが3村である。

世帯数についても、760世帯増加して、761,477世帯となった。

### ■賃金・労働時間・雇用(9月)

#### 1. 平均賃金の推移

9月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は231,729円で前月に比べ1.5%減(前年同月比5.5%増)であった。

このうちきまって支給する給与は230,030円で前月に比べ2.3%増(前年同月比3.2%増)であり、特別に支払われた給与は1,669円で前年同月に比べ720円減であった。

#### 2. 労働時間

総実労働時間数は180.0時間で、前月に比べ9.7%増(前年同月比1.5%減)であった。

このうち所定内労働時間数は161.9時間で、前月に比べ9.6%増(前年同月比1.4%減)であり、所定外労働時間数は18.1時間で、前月に比べ9.8%増(前年同月比2.4%減)であった。

#### 3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、107.5で、前月に比べ0.8ポイント増、前年同月に比べ0.9ポイント減であった。

### ■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(9月)

本県における昭和60年9月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が109.0、出荷が111.4、在庫が111.6で、前月比は、生産が2.1%の上昇、出荷が0.1%の低下、在庫が2.2%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.1%の低下、出荷が5.0%の低下、在庫が0.6%の上昇であった。

業種別にみると、生産では、一般機械、窯業・土石製品、その他工業等が上昇し、精密機械、鉱業等が低下した。出荷では、窯業・土石製品、鉱業、非鉄金属等が上昇し、金

属製品、精密機械等が低下した。在庫では、輸送機械、精密機械、石油・石炭製品等が上昇し、食料品・たばこ、化学等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、建設財が低下した。出荷では、資本財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、資本財、耐久消費財が上昇し、その他用生産財、鉱工業用生産財等が低下した。

### ■消費者物価指数(9月)

昭和60年9月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で115.9(昭和55年=100)となり、前月比0.3%、対前年同月比1.7%の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料22.8%、シャツ・下着20.2%、乳卵類5.1%、生地・他の被服類3.4%、医薬品1.2%

今月下がった主な項目……果物△10.6%、野菜・海草△7.9%、魚介類△6.4%、他の教養娯楽△1.2%、交通△1.0%

#### 費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	115.9	0.3	1.7	保健医療	117.1	0.2	7.7
食 料	114.4	△2.1	△0.6	交通通信	111.6	△0.4	2.2
住 居	118.3	0.3	4.2	教 育	140.2	0.0	4.4
光熱・水道	108.2	△0.1	△0.9	教養娯楽	117.2	△1.1	2.6
家具・家事用品	110.6	0.1	3.8	諸 雑 費	114.5	0.0	1.2
被服及び履物	121.3	15.7	5.0	生鮮食品を除く総合	116.7	1.3	2.4